

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての基本理念を土台に今までに築いてきた思いや経験を活用し、住み慣れた地域で一人の区民としてこれまでの生活が継続でき、その人らしさを発揮して頂きたい。家族のようにいつも一緒に、ゆっくりと、安心して暮らして頂くことを、実現していきたいと思っています。		グループホームの基本と考えています。今後もこの理念に外れることのないように努力します。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員として採用されたときにはまずしっかりと理解をして頂いております。また、日々の業務や申し送りの中でも伝え理解して頂いています。管理者とスタッフの信頼関係は築いています。		理念の実現に向けてスタッフ全員で取り組んで行きたいと考えています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の中のちよつと古い普通の民家であり、その地域にとって違和感もなく、隣近所とのお付き合いをさせて頂いています。グループホーム便りを地域全戸に配布したり、地域行事にも積極的に参加理解を深めて頂くよう努力しています。ご家族へのお便りも発行しております。		一区民として特別ではない普通のお付き合いを今後していきたいと考えています。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所や地域の方々とのお付き合いは常にあります。良くお野菜など頂きます。また、曲尾グループホームには畑があり、野菜の種まき、野菜の収穫、収穫後の畑の手入れ草むしり等お手伝いして頂いたりしており大変感謝しております。		今後とも今までどうりのお付き合いお付き合いをしていきたいと考えています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の「いきいきサロン」に参加したり敬老会や他、地域の行事に参加しています。日々の買い物やお散歩のときなど普通に声をかけてください。地域の掃除や防災訓練に参加するなどしています。		今後とも今までどうりのお付き合いお付き合いをしていきたいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご近所の方々の相談に乗ることがあります。また、ボランティアさん、実習生の受け入れは常に行っています。</p>		<p>地域の方々にもっと認知症のことについて勉強をして頂き、認知症についての理解を深めて頂く事が必要であり大切なことと感じています。もっと働きかけていきたいと思います。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス評価の意義や目的をスタッフ全員に伝えスタッフ全員が自己評価を行い、自己評価を行ったことにより日々のケアが理解しやすく働きがいに繋がると思っています。</p>		<p>評価は管理者、スタッフにとって日々のケアを考え、見つめ直す良い機会だと思います。この機会を活かしていきたいと思っています。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の役員さんに知って頂くことはとても有意義なことと感じています。会議後にお年寄りとお茶を飲みながらお話しして頂くことはグループホームの実践的な理解に繋がると思っています。</p>		<p>新年度になり新しい役員さんになり、更に理解の幅が広がると感じています。運営推進会議を有効に使いたいと考えています。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政の方に知って頂く良い機会だと思います。運営推進会議のご案内とお願いには毎回伺っておりますがなかなかご出席いただけないのが現状です。出来るだけご出席いただけるよう努力していきます。</p>		<p>市の役員さんが関心を持ち積極的に参加していただけると良いと思います。</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>今まで、成年後見を利用される方がなかったこともあり理解度は薄く、また制度自体知らないスタッフもいます。管理者として勉強していかないと行けないと思います。</p>	○	<p>権利擁護の研修会には参加をしましたが、今まで受容が無かった分勉強不足でした。今後勉強していこうと思います。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>以前から法人全体でこの事に取り組んできています。虐待等はあるはずはないことと認識しています。また毎月行われる職員全体会議ではアザレアンさんの宣言を全員で読み合わせしています。</p>		<p>組織で取り組んでいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用されるについて、数日間体験をして頂くこともあります。契約の内容について説明をさせて頂いております。生活、外出、面会等可能なこと全体にわたり説明させて頂いております。		今後も同様に考えています。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんのご希望は常にお聞きしてなるべく速やかに対応しています。また、心配事や不安な表情などの観察も行っています。またあらゆる状況もスタッフ全員で共有し、安心して生活していたるように配慮しています。		今後も同様に考えています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	御家族への連絡は常に行っています。健康状態に変化があった時は速やかに連絡対応しています。金銭管理は個人出納帳に記入し、年数回出納帳のコピーと領収書を御家族に送り確認して頂いています。		今後も御家族とは常に連絡を密に行います。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族とは良い関係でいると思っています。ご意見等お聞きしたり、何でも言っていただけるようにしています。		なるべくご意見を言って頂くようお聞きしていますが、特別要望はなく、御家族からはご意見、不満等お聞きしないのですがこれからは、御家族だけの会を開いて頂き素直なご意見を出して頂く機会を作れるよう支援していきたいと考えます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はスタッフの要望、意見を常に聞くように心掛けています。日々の会話や、個々に聞くように心掛けています。		今後も同様に考えています。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>パート勤務者が多いので、なるべく身体的にも、家庭的に無理がかからないようにシフトを組んで頂いています。夜間帯の対応や利用者の状態に合わせて柔軟に対応が出来るように配慮して頂いています。</p>		<p>シフトには希望を叶えて頂いているので、無理のかからないように考えて頂いていると思います。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的にスタッフは固定化していますが、新しいスタッフが入ったときには、利用者さんと馴染みの関係作りが出来るよう一ヶ月間シフトには入れません。一ヶ月はお年寄りとの関係を築くための期間としています。</p>		<p>利用者、新人スタッフにとって必要な期間であり今後も同様に考えています。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の全体会議が毎月あり、研修報告会の時には、研修発表があります。また、法人主催の研修会が毎月実施されています。また2ヶ月に1回グループホーム勉強会を開催して意識の向上に努めています。パートスタッフも外部の研修会に参加して頂いています。</p>		<p>今後も継続していきます。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>19年度に長野県連絡会の指導により近隣のグループホームネットワーク作りが出来、他グループホームさんとの交流を持つことが出来、日々の業務、ケア等を見つめ直す良い機会になりました。20年度に向けて活動が始まりました。</p>		<p>今後の活動に期待しています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>シフト上、個人の希望を聞いて頂き無理を頂かないよう配慮して頂いています。またスタッフの悩み、困っていること等出来るだけ聞くように努めています。また、きちんとした休憩時間や場所が取れないので食事やお茶の時間にお年寄りと一緒に過ごして頂くようにしています。</p>		<p>常にお年寄りが居ることをスタッフに理解して頂き今までと同様で行きたいと考えています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	お年寄りそれぞれレベルが違います。それぞれに考え対応しています。また、運営者(施設長)との誕生日面談なども行っています。また管理者は運営者(施設長)への相談、報告を行っています。		明るい気持ちを常に持てる職場作りをこれからもしていきたいと思います。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の相談があったときには、必ずご本人と御家族にお会いして生活状況や心身の状況、これからどのようにしたいのかご希望を聞くなどして安心が得られるように配慮しています。		今後も同様に考えています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの御家族のご苦勞などをお聞きして、事業所の方針や対応などを説明し利用するに当たり安心していただけるように対応しています。		今後も同様に考えています。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時ご本人、御家族の思いや状況を確認し、体験が出来る状況であれば体験して頂く事も可能です。もしその状況下に無ければ必要なサービスにつなげるようにしています。		今後も同様に考えています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人や、御家族に実際にホームに見に来て頂いたり、体験して頂き徐々になれていただくなどの工夫をしています。安易に早めの入居は考えていません。		今後も同様に考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お年寄り中心の生活を送っています。介護する、されるところを常にお手伝いさせて頂き、出来るところは自分の意志でやって頂く、自信を持って生活して頂きます。スタッフはお年寄りから色々な事を教えて頂きます。		家族のような安心できる関係のなか、お互い貴方が居てくれて良かったありがとうと言える仲間でありたいと考えています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族の面会も多く、家族の思いもスタッフ全員に伝わっていると思います。御家族と一緒に喜び、悲しみお年寄りを支えていこうと思っています。		この関係、雰囲気を保っていきたいと思っています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人と御家族と少し距離がある方が離れて生活することによりお互いを大切に思うことが出来るようになる事を実感しています。外出、外泊など、無理のないように勧めています。また面会時には、御家族だけの時間を楽しんで頂き、また現状をお話してご理解頂いています。		今後も同様に考えています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご自宅や、実家へご希望があれば可能な限り叶えて行くようにしています。また友人、ご近所のお付き合いも大切にしています。しかしお互い高齢になりお付き合いも少なくなっています。ご近所との良い関係を大切にしています。		今後も同様に考えています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係については、スタッフ情報を常に共有し、良い関係を継続できるよう感情の変動等注意深く見守るようにしています。		見守っていきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された方々とは良好な関係を持っています。退居され特養ホームや、病院へ入院されている方には時々会いに行っています。また御家族は家族会に残ってくださる方もいます。		関係を大切にしていきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の関わりの中で把握に努めています。寄り添いながら言葉や、表情から思い、感情をくみ取っています。また、御家族などから情報を得る等しています。		今後も同様に考えています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時に御家族から情報を頂いています。その方にとってのこれからの暮らしは同じ物であって延長になる物です。できるだけ情報収集に努めています。入居後も御家族からお聞きしています。		今後も同様に考えています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりのペースに合わせ強要することなく出来ることを見つけ、無理せず関わりながら行っていき、心身状態の把握に努めています。		今後も同様に考えています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントをみんなでを行いサービス計画を作成しています。時には、御家族にも相談に乗って頂きご本人の意向に添ったものになりたいと思っています。		今後も同様に考えています。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		<p>管理者、計画担当者として反省しているところです。しかし、情報はとても細かく入ってきてスタッフ間の情報確認はできていますが、今後の検討事項にします。</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		<p>今後も同様に考えています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		<p>今後もより良く安心していただけるよう努力していきます。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		<p>今後も同様に考えています。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		<p>ご希望があれば活用していきます。</p>

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ差し迫っての問題はありませんが、必要性が生じた場合は協働していきたいと思えます。		
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や、通院はご本人、御家族のご希望に応じ対応しています。スタッフのみでは不可能な受診については御家族にも御協力頂いています。また訪問診療に来て頂いてもいます。医療機関と関係を密にしています。		現状を維持していきたいと思えます。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現在受診をしている専門医の先生を信頼してかかっていますので今後も受診、相談をしていきたいと思えます。		今後も同様です。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションとの契約に基づき、月2回訪問して頂いています。日頃の健康管理や、医療面での相談、助言、対応を頂いています。連携は摂れています。また協力医療機関との連携も充分摂れています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院されたときにはなるべく多く見舞うようにしています。速やかな退院に向け病院側、御家族、訪問看護師と密に情報交換しています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応指針を定めています。御家族、医師、看護師を交え話し合いも行い、スタッフ間の話し合いも行い共通意識の元対応していきます。また状況変化がある毎に、御家族の気持ちやご本人の思いに注意を払い支援を行っています。		様態の変化によって御家族の気持ちに変化、揺らぎが出てくる場合があります。思いや気持ちを大切にしたいと思えます。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>終末期については、スタッフ全員で受け止め対応しています。人生の最後を安心して迎えらるよう最前の力を尽くしていきたいと考えています。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>これからも同様に考えています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>今後も同様に考えています。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>今後も同様に考えています。</p>

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お年寄りのペースでの生活です。一人ひとりの個性、体調、気分を尊重しながら個別的な援助を行っています。		今後も同様に考えています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の性格や好みに合わせて支援を行っています。身だしなみを大切にしています。		今後も同様に考えています。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お年寄りとチラシを見たり、買い物に行きながら相談しています。一緒に作り温かい食事を楽しみながら頂くように心掛けています。		今後も同様に考えています。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	それぞれの好みを大切にしています。お肉が駄目な方には他の物を用意します。また、ご自宅で晩酌をされていた方は同じように毎晩晩酌を楽しんでいます。		それぞれの好みを大切に考えてこれからも行きたいと思います。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	失敗の無いよう注意し対応したり、排泄表を参考にトイレ誘導、オムツ交換などの支援を行っています。また要介護が高くても安易にオムツにしない支援を行っています。		一人ひとりの排泄スタイルに合わせ支援をこれからも行って行っていこうと思います。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		お風呂は皆さんお好きです。今後も同様に考えています。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		今後も同様に考えます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		お年寄りがスタッフに教えている姿は輝いています。
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		

曲尾グループホーム

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者人数も6人と少なく、常にお年寄りと寄り添っていますので目配り、気配りで安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お年寄りの状況で判断しています。出来るだけ自然な状況にしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態から来る危険を予測、事故を未然に防ぐ工夫をしています。もし事故が発生してしまったら事故報告書を作成、事故の原因を検証し、次の事故につながらないように注意しています。またヒヤリ、ハットも行って事故防止につなげています。		ヒヤリ、ハットの様な小さな気づきを活かし事故防止につなげて、大きな事故にならないよう気を付けていきたいと思います。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全スタッフが年1回は救急法を受講しています。また緊急時の対応マニュアルを作成して、速やかに対応が出来るようにと考えています。通報訓練も行っています。		急変や非常時に備えて常時、対応できるように心掛けていきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	今まで事業所だけで避難訓練を行っていましたが、昨年運営推進会議に地域の方のお力をお借りできないかと提案したところ快く御協力いただきご近所多数の参加を頂き夜間想定にて避難訓練を行う事が出来ました。また、多数の貴重なご意見も頂き次回につなげたいと思います。		今年度は、地域の消防団の御協力を御願いし地域の方と実施していきたいと思います。自治会長さんはじめご近所の方皆さん協力的でありがたいと感謝しています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日頃の生活や、体調に関しても御家族のご理解を頂いています。自由な生活を確保する事が大切ですが、予測の出来ない危険等についても御家族と相談し、対応しています。		その時々状況で起こりうるリスクについて常に注意を心掛けています。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に寄り添っていますので「普段と違う」を感じ取ることが出来ます。早期発見を見逃さないよう心掛けています。次への対応訪問看護ステーションへとつなげています。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフは、薬の内容を確認しています。自己管理されている方はおられませんので、こちらで管理させて頂いています。服薬確認は確実に、薬の変更や内容に変化があった場合は全員に伝えます。	今後も同様に考えています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の方が多くいらっしゃいます。個人個人に合わせ便秘予防に努め、水分の飲み込みが悪い方にはお茶ゼリーを用意したりしています。また午前の水分補給時はあまり甘くないココアを用意しています。	便秘対策は重要なケアの一つと考えます。今後も継続していきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性をスタッフ全員理解しています。個人個人に合った食事後声かけや、介助にて口腔内の衛生に注意しています。	継続していきます。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今はいらっしゃらないですが、食事の摂取量が必要な方は記録をしています。全体的に馴染みのある暖かい家庭的な食事を提供しています。	法人の栄養士に相談をしていますが、特に心配なことは無いとのこと。今後も栄養面など相談しながら食事を提供していきたいと考えます。

曲尾グループホーム

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防については法人内に感染対策委員会があります。そこでマニュアルを作り法人全体発信しています。感染対策に次亜鉛素酸水(コモスイ)を常時使用し予防に努めています。法人内の感染症研修会にも積極的に参加しています。		今後も継続し注意深く対応してきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理に注意をしています。まな板、布巾、台ふき等毎晩消毒しています。又、食洗機も使用しています。作り置きはしません(次回火をとうして食べられる物については2食まで)と決めています。食材は、基本的に毎日買いに行きます。		これからも継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の民家です。玄関にはお年寄りの表札はありますが、特別グループホームと表記した看板は有りません。とても気軽に寄っていただける雰囲気です。		玄関の中や外には常にお花が植えてありこれからも色々工夫していきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	地域の中の古民家を使用していますので、昔ながらの馴染みやすい雰囲気があります。茶の間コタツでお年寄り同士、スタッフとお年寄りとお話したりとゆっくりと過ごしていただいています。		お年寄り一人ひとりがゆっくり安心して過ごしていただけるように今後も工夫していきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間は割と広いと思います。その中で一人で過ごしたい時間や皆さんと楽しめる時間等の工夫をしています。日の当たる暖かい時間帯には、ソファーを移動したり、お部屋で一人の時間を楽しんでいただいたりしています。		一人ひとりを大切にしています。

曲尾グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個性的なお部屋になっています。おコタツやお位牌を持ってこられている方も居ます。</p>		<p>個性を活かすよう考えています。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>冬は寒くないよう1日暖房を付けています(暖房は、気温によって調節しています。気温によっては付けたり消したり工夫します。)。また、乾燥しないように注意しています。夏は、暑すぎないように風通しをよくするなど自然環境を考え工夫しています。</p>		<p>環境に配慮しながらやっています。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>環境的には問題があれかもしれませんが、お年寄り自信が気付く力、出来る力を引き出してご自分で出来るように工夫しています。</p>		<p>生活全体で工夫しています。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>無理の無いよう分かりやすく出来ることに関わっています。一人ひとりの力を信じ、お年寄りの自信や力を出せるよう工夫しています。</p>		<p>工夫をし出来たときはお互い嬉しいものです。今後も同様に考えています。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>プランターや庭にお花を植えたり、畑に野菜を作り、馴染みの野菜や、時には珍しい野菜を作り話の種にしたりと日常的に自然な仕事であったり、楽しみであったりと家の周りの環境を活用しています。</p>		<p>これからも継続していきます。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

曲尾グループホーム

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所には○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

曲尾グループホームは真田町の傍陽地区にあります。築110年と大変歴史のある民家です。大家さんの先代はこの地区で郵便局長をされていた方なので地域の方、誰でもがこの家をご存じで有り、地域そのものであり馴染み深さがあります。地域の方に笑顔で声をかけて頂ける、安心できる環境であると思います。入居されているお年寄りは6名です。家の持っている家庭的な雰囲気と相まってその人らしくゆったりと安心して暮らして頂いています。また、昔ながらの行事(味噌仕入れ、杵と臼での餅つき等)、生活感覚を大切に一区民として暮らしています。